

宮本絵莉のベルギー留学日記 1

Goedemiddag, iedereen.

こんにちは。ベルギーに留学中の宮本絵莉です！

今回私は羽田空港を出発しヘルシンキ空港で乗り換えてベルギーに向かいました。羽田空港で荷物につけるタグをもらうときに、「これから出発するんだ。」という喜びと緊張感からか、体が内側から震えてきました。今まで感じたことない緊張があの一瞬に詰まっていた気がします。



この緊張感と震えた感覚は忘れることはないと思います。

ヘルシンキまでは約13時間、ベルギーまでは約3時間と、とても長いフライトでした。乗り換えは初めてだったのですが同じくベルギーに行く5人の仲間とベルギーに到着するまで一緒に行動できたので不安も特になく楽しくフライトを終えることができました。



出発直前に同じベルギー派遣生と記念撮影



空港の待機時間で仲良くなったイタリア人と

到着後は2泊3日のオリエンテーションが始まります。私はこのオリエンで世界各地からベルギーに集まった留学生と会えるのを本当に楽しみにしていました。

私のつたない英語でも理解しようと頑張ってくれたり、私が理解できずに聞き返すと違う言い方で伝えようと努力してくれたり本当にありがたかったのと同時に英語がもっと自由

に喋れたらな、と自分の不甲斐なさを感じていました。ベルギーでのオリエンは自由時間が多く、他の国から来た留学生とUNOをしたりバレーボールをしたりと沢山コミュニケーションを取ることができ、とてもいい時間を過ごすことができました。



ホストファミリーと初対面

オリエンを終えみんなそれぞれのステイ場所に移動しホストファミリーと初対面！私はアントウェルペン【アントワープ】というオランダ語圏の都市に移動しました。

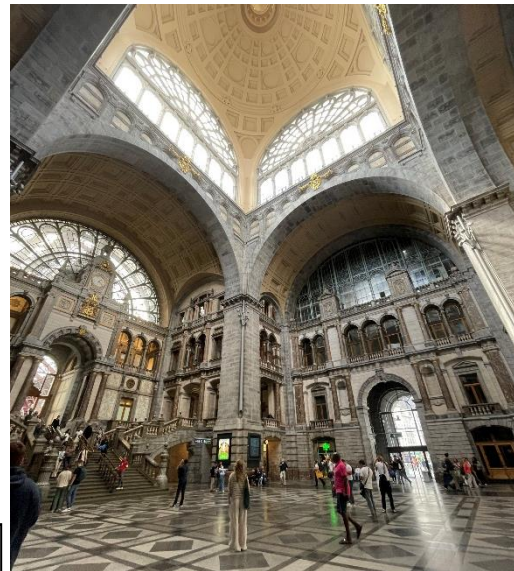
（ベルギーではなんとオランダ語、フランス語、ドイツ語と3か国語も公用語として使われているんです！）ファミリーとは留学前からビデオ通話やチャットはしていましたが初対面はやはり緊張しました。

お家に行く前にスーパーで買い物をしました。スーパーでは初めて見るものが多くて並んだ商品を見ているだけで楽しかったです。棚一列がすべて色々な種類のコーラが陳列されていて、コーラ以上に種類と量があるビールやワインは圧巻でした。どのス

ーパーでもお酒は2列分あるよと教えてもらったときは本当に驚きました。

ずっと行きたかった“世界で一番美しい駅”と言われているアントワープ中央駅。本当に綺麗で初めて行ったときは感動してずっと駅構内を眺めていました。ベルギーで二番目に大きい都市の中央駅というぐらいなので駅自体も本当に大きく電車はもちろん TRAM という路面電車のような公共交通機関の駅もたくさんあります。今は何とか一人で家から中央駅まで往復できるようになりましたが、慣れるまではとても難しかったです。

アントワープ中央駅



留学に行く前に私はスマホを新しい物に変えました。ですが、ベルギーに到着してからなぜか電波を拾ってくれず、スマホショップに行きました。すると、日本のスマホは特別だから無理。とスマホを見ることもなく一刀両断されてしまいました。日本か

らベルギーに来た留学生の中でスマホを不自由なく使えている人も、同じような状態で困っている人もいたので色々試行錯誤をし、結果プロファイリングを設定することで使えるようになりました。これからベルギーに行く人は（ベルギーだけなのかヨーロッパ全域なのかは分かりませんが。。）プロファイリングの設定をしないと使えないかもしれないってことを覚えておいてほしいです。

私のホストスクールは厳しめの学校なので学校ではスマホを使うことはできませんし、制服もあります。授業は基本的には日本の学校と同じですが、2時間おきに長めの休憩時間があって校舎の外に出ないといけません。この時間はお菓子を自由に食べることができ、みんなでお喋りしながらお菓子を食べて過ごします。ベルギーの学校で一番驚いたのはホームルームがなく授業に間に合えばいいので、最初の授業がなかったり、先生が休みだったりすると学校に行くのが遅くてよくなります。なんと10:30でいいときもあるんです！逆に最後の授業がないと早く帰ることができます。今まで私は本来8時間授業の日に3時間の授業で帰れた日がありました。ちょっと得をした気分になって嬉しくなります。



ホストファザーが連れて行ってくれた美しい通り

日本にいるときは土曜まで授業があったので一日だけしかない休日はあまり出かけることもなく、家で宿題をしたり、ゲームをしたりして過ごしていました。ですがベルギーでは私も含め全ての留学生に限られた時間の中で生活をしているのでどの留学生も暇があればすぐに出かけます。なので、私もいろいろな場所にたくさんの留学生と出かけています。やはり少しは疲

れますが、疲れ以上に良い時間を過ごせるので自分の体と相談しつつこれからも充実した休日を過ごしたいなと思っています。